

標的型攻撃メール訓練サービス

KIS MailMon

スタートガイド：基本編

この度は、標的型攻撃メール訓練サービス「KIS MailMon」をお申込みいただきまして、誠にありがとうございます。本書では、標的型攻撃メール訓練ご担当者様に向けて「KIS MailMon」の訓練実施までの流れを説明し、一連の訓練を実施可能になることを目的としております。

ご利用に際し、ご不明な点は、[こちら](#)にお問合せ下さい。

お問合せ先：KIS MailMon サポート
support@kis-sec.co.jp

1. はじめに
2. KIS MailMonの特徴
3. 訓練メールの種類と考え方
4. 訓練実施の流れ
5. 訓練実施手順
6. その他（利用状況等の確認）、参考

KIS MailMonは、標的型攻撃メール訓練のセルフ型クラウドサービスです。システムは直感で利用できるセルフ型で提供し、訓練実施前や訓練実施中、訓練実施後の課題や相談に対してコンサルティングを行います。コンサルティング型とセルフ型の一体化したサービスです。訓練実施者の負担を軽減し、社員の意識改革を実現できる標的型攻撃メール対策です。



【訓練実施者】

インターネットへ接続できるパソコン、ブラウザでご利用できます。

<推奨環境>

- OS : Windows10以降
ブラウザ : Microsoft Edge / Google Chrome
各ブラウザの最新版に対応しています。

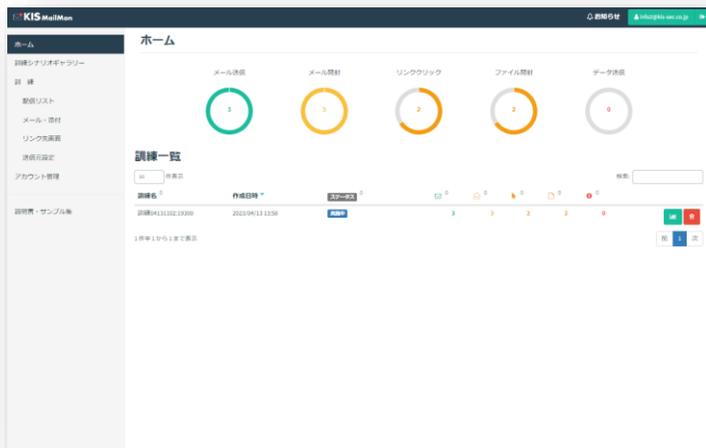
【訓練対象者】

パソコンやMac、スマートフォンでメールが受け取れる環境が必要です。

【サポート窓口】

- お問合せ先 : KIS MailMon サポート
メールによるお問合せ : support@kis-sec.co.jp
サポート時間 : 平日9:30～17:30 (土日祝祭日、年末年始、弊社指定休日を除く)
製品ページ : <https://www.kis-sec.co.jp/kis-mailmon>
FAQ : <https://www.kis-sec.co.jp/kis-mailmon-faq>

訓練シナリオギャラリーは、訓練シナリオを基に編集することやユーザーオリジナルの訓練内容を作成可能です。標的型攻撃メールの見極めポイントを押さえた初級編～上級編といった観点で訓練シナリオを用意しています。英語版の訓練シナリオも5種類用意しています。メール本文やリンク先画面をカモフラージュできるように複数の訓練用URLを用意しています。



<KIS MailMon ホーム画面>



<訓練シナリオギャラリー>

訓練対象者のメール閲覧、メール本文のURLクリック、添付ファイルの開封、添付ファイル開封後のクリック、メール本文のURLクリック後のデータ入力などの細かなアクションステータスを記録し、リアルタイムで把握することが可能です。



訓練対象者一覧のアクションステータスを確認できます。



訓練対象者毎にアクションステータスを確認できます。

※メーラーや設定・環境によっては、ステータスが取得できない場合があります。トライアル版でご確認ください。

昨今の攻撃メールは大きく分けて、「URLリンク型」「添付ファイル型」の2種類が主流となっています。KIS MailMonはその2種類の攻撃メールに対する訓練を実施することが可能です。また、2種類単体の他、複合型の訓練も実施可能となります。

URLリンク型

精巧に真似た偽サイトのリンクをメールに記載し、あたかも公式からの通知として偽装し、個人情報やID、パスワードを入手することを目的としている



添付ファイル型

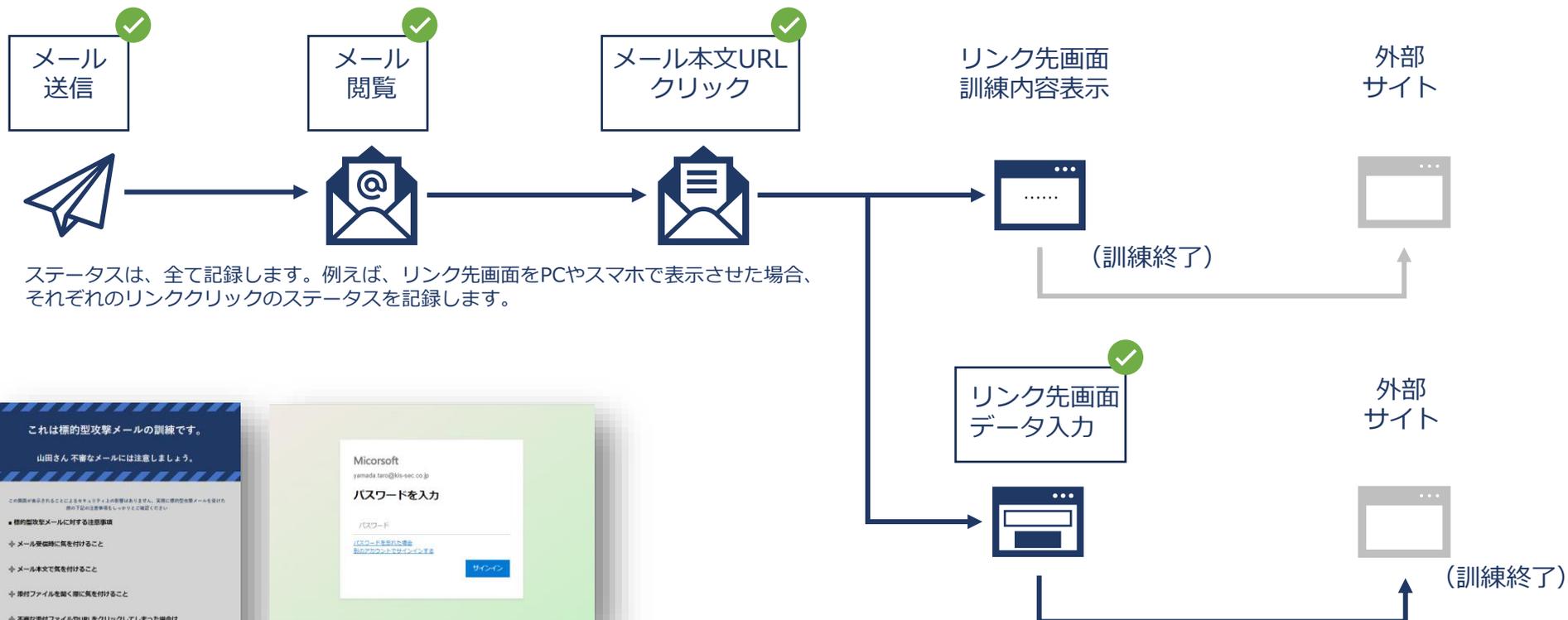
ワードやエクセルに偽装したウイルスをメールに添付し、ファイルを開いた受信者の端末を直接ウイルス感染させることを目的としている



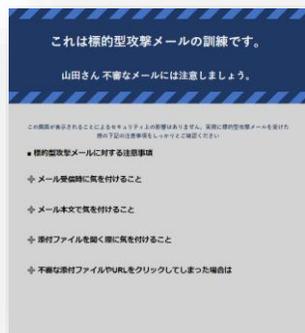
<URLリンク型> 訓練対象者がメール内のリンクをクリックするかどうかを評価します
 リンク先画面は、訓練内容を表示するページとデータ入力を表示するページを用意しています。

URLリンク型訓練の流れと確認項目

✓ 取得可能なステータス



ステータスは、全て記録します。例えば、リンク先画面をPCやスマホで表示させた場合、それぞれのリンククリックのステータスを記録します。



(参考) 訓練内容表示



(参考) データ入力

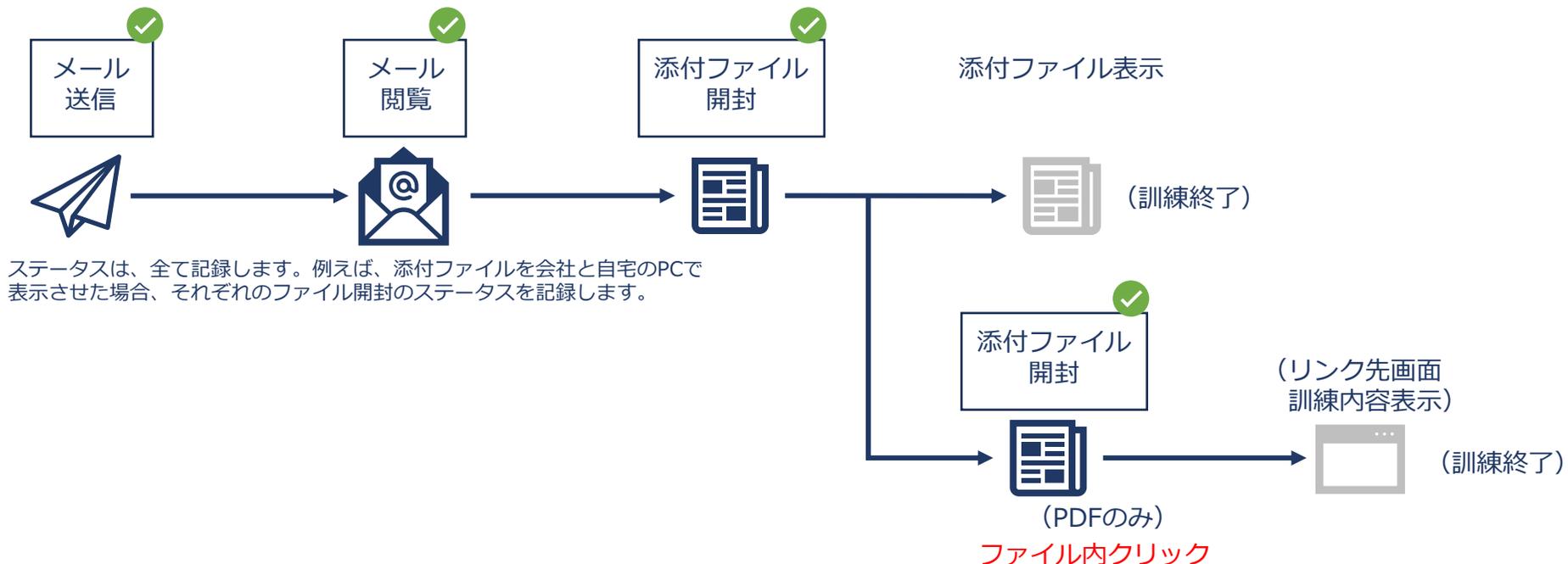
※リンク先画面にURLを記載し外部サイトへリンクすることができます。
 自社教育コンテンツページがある場合など誘導することができます。

※メーラーや設定・環境によっては、ステータスが取得できない場合があります。トライアル版でご確認ください。

<添付ファイル型> 訓練対象者がメール添付ファイルをクリックするかどうかを評価します。
添付ファイル内のリンクをクリックするか確認することも確認可能です。

添付ファイル型訓練の流れと確認項目

✓ 取得可能なステータス



※メーカーや設定・環境によっては、ステータスが取得できない場合があります。トライアル版でご確認ください。

pdfファイルを使用の時はファイル開封のステータスを記録するためJavaScriptを用いています。JavaScript を無効にされている場合は記録できません。docx・xlsx・pdf・zipファイルが利用できます。zipファイルを使用した時は、zipファイル解凍後、pdf・docx・xlsxファイルを開いた時にアクションステータスを記録します。

アクションステータスは、以下の条件をトリガーに記録しています。

アクション	条件
メール送信	KIS MailMonでの訓練開始すること 画像を読み込むこと リンク先へのページアクセスすること
メール開封	
リンククリック	
添付ファイル開封	
PDF開封時	PDFに仕込んだJavaScriptが動作すること リンク先へのページアクセスすること ファイル内の画像を読み込むこと ファイル内の画像を読み込むこと リンク先の送信ボタンをクリックすること
PDF内リンククリック	
Word	
Excel	
リンク先データ入力/送信	

形式	メーラー	メール送信	メール開封	リンククリック	添付ファイル				データ送信
					Word ファイル開封時	Excel ファイル開封時	PDF ファイル開封時	PDF 表示後にクリック時	
HTML メール	Outlook (アプリ)	○	画像DLが必要	○	ダブルクリックアプリ起動 ○保護ビューの 編集をクリック シングルクリック ×プレビュー表示	ダブルクリックアプリ起動 ○保護ビューの 編集をクリック シングルクリック ×プレビュー表示	ダブルクリック ○Acrobatの場合 セキュリティ警告 を許可する ×edgeなどブラウザで 表示の場合 シングルクリック ×プレビュー表示	PDF表示後 どこかをクリック ○Acrobatの場合 ○edgeなどブラウザで 表示の場合	○
	Outlook(WEB)	○	画像DLが必要	○	×・プレビュー ×・ブラウザで編集 ○・デスクトップアプリ で編集する △・OneDriveに保存 OneDriveからファイルを ダウンロードして開いた 場合のみ ○・ダウンロード 保護ビューの編集をクリック	×・プレビュー ×・ブラウザで編集 ○・デスクトップアプリ で編集する △・OneDriveに保存 OneDriveからファイルを ダウンロードして開いた 場合のみ ○・ダウンロード 保護ビューの編集をクリック	×・プレビュー ×・OneDriveに保存 (Onedriveを開く) ・ダウンロード × edgeなどブラウザで 表示の場合 ○ Acrobatで開く	PDF表示後 どこかをクリック ○・プレビュー ○・OneDriveに保存 (Onedriveを開く) ・ダウンロード ○ edgeなどブラウザで 表示の場合 ○ Acrobatで開く	○
	Gmail (ブラウザ)	○	○	○	ファイルのDLが必要 ○保護ビューの 編集をクリック ×表示したのみ メール閲覧時のサムネイルで 表示されない	ファイルのDLが必要 ○保護ビューの 編集をクリック ×表示したのみ Googleスプレッドでは記録で きかない メール閲覧時のサムネイルで 表示される	×	○	○
	Thunderbird	○	画像DLが必要	○	○	○	×	○	○
テキスト メール	Outlook (アプリ)	同上	×	同上	同上	同上	同上	同上	同上
	Outlook(WEB)		×						
	Gmail (ブラウザ)		×						
	Thunderbird		×						

KIS MailMonでは標的型攻撃訓練の特性上、メールが正常に受け取れない、正常なメールが送付されない事がございます。試験実施前にKIS MailMon機能の正常性確認や配信内容の確認のため、事前テストを実施していただくことを推奨いたします。

訓練実施までの流れ

I 利用登録

利用登録後、システムからIDパスワードが送られますので、受信できていることを確認してください。
また、トライアル版を申し込みされた方は、利用期間が限定されており、1回の訓練で最大送信者数は10名と制限されています。

II 本文書の確認

本文書を確認し、訓練実施の流れや具体的な操作方法を学習し、訓練が実施できることを確認してください。
訓練内容をカスタマイズする場合は「「KIS MailMon」カスタマイズガイド」を確認してください。

III 初期テストの実施

手順STEP1~5（次ページ参照）を実施し、訓練実施前に正常にメールを受信できるか、想定された内容の訓練メールが配信されるか、アクションステータスを確認できるかの観点にてテストを実施いただき確認いただくことを推奨いたします。
配信リストの作成、配信スケジュールの設定にて、テスト用の専用設定が設定可能なため、ご活用ください。
詳細は本書の表題に **テスト時** と記載されたスライド及び箇所を確認ください。

IV 本番前テストの実施

本番訓練に利用するシナリオを用いて本番前のテストの実施を推奨いたします。
詳細は本書の表題に **テスト時** と記載されたスライド及び箇所を確認ください。

IV 本番訓練実施

テストの結果のもとに、必要に応じて環境や設定の変更を行い、手順STEP1~5を用いて、本番訓練を実施してください。

STEP 0 事前準備

P13～

環境確認

KIS Securityから送付されたIDパスワードを利用し、KIS MailMonにログインできることを確認してください。
訓練メールが問題なく受信できるように、お使いのメールサービスのフィルターに指定のドメインを追加してください。



STEP 1 訓練シナリオの選定

P16～

訓練準備

訓練の目的に合わせて、訓練シナリオギャラリーから訓練シナリオを選択し、インポートをしてください。
用途別や訓練タイプ別にフィルタリングして絞りこみができます。インポート後に編集も可能です。



STEP 2 配信リストの作成

P19～

訓練準備

テスト時(あり)

一括登録用のcsvファイルをダウンロード後、訓練対象者リストを作成し、インポートをしてください。
全員や部署別などに分けるなど複数の配信リストを作成できます。訓練シナリオを分けて実施できます。



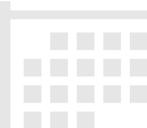
STEP 3 配信スケジュールの設定

P21～

訓練準備

テスト時(あり)

業務への負荷がかからないように、配信予定日や訓練実施期間など決めてください。
一括配信や分散配信の設定ができます。再度テスト配信を実施し、内容を確認ください。



STEP 4 訓練 配信

P22～

訓練開始

テスト時(あり)

STEP 3までの設定をもとに、メール訓練を開始します。



STEP 5 訓練終了 レポート作成

P24～

訓練終了

訓練実施中はリアルタイムで訓練実施者のアクションステータスの記録状況を把握できます。
途中経過の報告などでデータを活用可能です。レポートを参考に次回の訓練に役立ててください。



- 管理サイト ログインページ



- 申込日の5営業日以内に管理サイトへのログイン情報をメールで案内します。

管理サイトログインページ

<https://kis-MailMon.jp>

- 初期パスワードの変更



- メールに記載している初期パスワードでログインください。

初期パスワードの設定ページとなります。
パスワードを変更してください。



メニュー一覧	内容
ホーム	訓練実施中や訓練終了後の集計を表示します。訓練別の訓練状況の詳細を確認できます。
訓練シナリオギャラリー	180種類以上の訓練シナリオを選択できます。
訓練	訓練実施のスケジュールやメール本文に埋め込む訓練用URL（ドメイン）の変更などの設定を行います。
配信リスト	訓練対象者の登録を行います。
メール・添付	訓練対象者に送信するメール本文や添付ファイルの編集や新規作成を行います。
リンク先画面	メール本文に記載のURLのリンク先画面の内容の編集や新規作成を行います。
送信元設定	送信する訓練メールの送信元情報の設定を行います。
アカウント管理	ログイン時のパスワード変更や訓練の使用状況を確認できます。
説明書・サンプル集	説明書やメール本文、リンク先画面のサンプル集をダウンロードページです。

Microsoft 365を利用の場合

Microsoft Defenderの検疫機能により訓練対象者にメールが届かない場合があります。その際は、本ガイド P36 を参照ください。

●EOPのバイパス設定

1. 管理者アカウントにて、Exchange 管理センター (<https://admin.exchange.microsoft.com/>) にサインインします。
2. 画面左側のメニューから [メールフロー] をクリックします。
3. 表示された画面上部のメニューから [ルール] をクリックします。
4. [+ルールの追加] をクリックし、「新しいルールの作成」をクリックします。セット ルールの条件の編集画面が開きます。
5. [名前] に任意のルール名を入力します。
6. [このルールを適用するの項目に [送信者] > [ドメインは] > ドメインを入力し保存します。
 - 登録用のドメイン：
 - ・ cloud-sys-co.jp ・ office-system-co.jp ・ cyber-taisaku-co.jp
 - ・ jinji-grp.com ・ keiri-grp.com ・ soumu-grp.com ・ system-grp.com
 - ・ yxwhitotupfruxxe.com ・ micro-sys-co.jp ・ mail-qooqle.com
 - ・ post-arnazon-co.jp ・ mail-online-co.jp ・ post-delivery-co.jp
 - ・ wtvnqxogopzhujib.com ・ accounting-grp.com ・ kanri-grp.com
 - ・ security-alert.info
7. [次を実行します] の項目に [メッセージプロパティの変更] > [SCL（スパム信頼度レベル）の設定] > [Bypass spam filtering] を選択し保存します。
8. 次へクリックしてください。セット ルールの設定の編集画面に遷移します。次へクリックしてください。
9. 確認と完了の画面へ遷移します。完了をクリックください。
10. トランスポールールが作成されていることを確認し、状態のDisabledをクリックし、Disabled→Enabledへ変更ください。

Google Workspaceを利用の場合

●許可リストに IP アドレスを追加する方法

(<https://support.google.com/a/answer/60751>)

1. Google 管理コンソールにログインします。
2. 管理コンソールで、
メニュー アイコン > [アプリ] > [Google Workspace] > [Gmail] > [迷惑メール、フィッシング、不正なソフトウェア] にアクセスします。
3. 左側で最上位の組織を選択します。通常はドメインです。
4. [迷惑メール、フィッシング、不正なソフトウェア] タブで [メールの許可リスト] の設定までスクロールします。
または、検索欄に「メールの許可リスト」と入力します。
5. 許可リストに追加したい送信メールサーバーの IP アドレスを入力します。
 - 登録するIPアドレス：160.251.121.141
6. ページの下部にある [保存] をクリックします

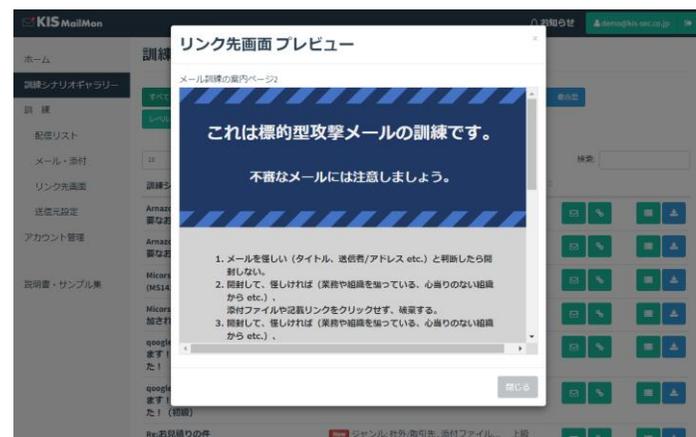
① メニューから訓練シナリオギャラリーを選択ください。

参考 左：メール・添付のプレビュー



② 訓練シナリオのプレビューを確認する。
(左：メール本文 右：リンク先画面)

参考 右：リンク先画面のプレビュー
(メール本文のURLをクリックした時に表示されるページ)



③ 本書では複合型をインポートします。

訓練シナリオの複合型を選択しインポートボタンをクリックしてください。



⑤ 準備中の訓練を表示します。



④ 訓練シナリオインポートページが開きます。

インポートボタンをクリックください。

訓練シナリオインポート

訓練名:
訓練12281624-64800

メール・添付:
[訓練12281624-64800] 【禁見】 Windows Updateのお知らせ

リンク先画面:
[訓練12281624-64800] メール訓練の案内ページ

送信元設定:
[訓練12281624-64800] 情報システム部

訓練用URL:
https://system-grp.com /

キャンセル インポート

- ・インポートの確認画面が表示されますので、インポートボタンをクリックください。

訓練名はわかりやすい名称に変更ください。

「訓練名」以外は変更できません。あらかじめセットした内容をインポートします。

訓練シナリオのレベルについて

初級：見分けやすい内容

中級：注意すれば見分けれる内容

(忙しいときに見落としてしまう)

上級：見分けにくい内容

(中級)



メール本文のシグネチャと送信元が違う

送信元：
CSTサービス
<info@office-system-co.jp>

シグネチャ：
クラウドシステック株式会社

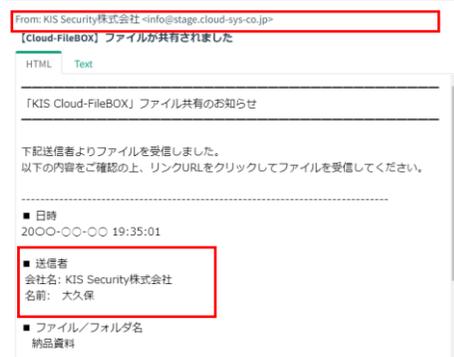
(初級)



送信元のドメイン：
アルファベット16桁

メール本文：
明朝体

(上級)



メール本文のシグネチャと送信元が同じであるがメールアドレスが違う

送信元：
KIS Security株式会社
<info@cloud-sys-co.jp>

シグネチャ：
KIS Security株式会社

- ① メニューから配信リストを選択し
新規作成をクリックください。



- ② 新規作成ページが開きます。

- 配信リスト名を入力ください。
- 一括登録用CSV テンプレートをダウンロードしてください。

テスト等で訓練対象が少ないときは個別に登録できます。姓・名・メールアドレス・部署・役職・項目の値を入力し登録ボタンをクリックください。

- ③ 一括登録CSV テンプレートを活用して
訓練対象者リストを作成ください。

A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	姓 名	メールアドレス	部署	役職	項目	項目2	項目3	テスト対象
2	山田 太郎	sample@kis-mailmon.jp	営業部	部長	項目値	項目値2	項目値3	
3	山田 花子	sample2@kis-sec.co.jp	企画部	課長	項目値	項目値2	項目値3	1
4								

- 姓/名/メールアドレス/部署/役職/項目/テスト対象を入力ください。
- ※テスト対象の場合は「1」を入力してください
- 訓練対象者のリスト入力後、ファイルを保存ください。

New
テスト時

メールアドレスは必須項目です。

テンプレートには2行目にサンプルが表示されます。2行目を削除して訓練対象者リストを作成をください。

- ④ 作成した一括登録CSVを取り込み保存してください。
訓練対象者のインポートは完了です。

- 作成した一括登録用CSVを用意し、一括登録ボタンをクリックください。
- 訓練対象者を一覧で表示します。確認後、保存ください。

配信対象者一覧を表示します。

メールアドレスをキーとして登録をします。同じメールアドレスを登録した場合は、1つのみ表示します。

テスト配信リストの作成について

テスト配信に関係者のみテストメールを送る宛先設定が可能です。下記の方法にてテスト配信先設定を行ってください。10名までとなります。何回でも可能です。ライセンスは消費されません。

テスト配信チェックボックスを追加する New

配信リスト 新規作成

配信リスト名:

一括登録 一括登録用CSVテンプレート

テスト対象

クリア 登録

10 件表示 検索:

姓 名 メールアドレス 部署 役職 テスト

テーブルにデータがありません

0 件中 0 から 0 まで表示 前 次

CSV出力 キャンセル 保存

アップロード配信リストのテスト対象項目に1を追加する New

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	姓	名	メールアドレス	部署	役職	項目	項目2	項目3	テスト対象
2	山田	太郎	sample@kis-mailmon.jp	営業部	部長	項目値	項目値2	項目値3	1
3	山田	花子	sample2@kis-sec.co.jp	企画部	課長	項目値	項目値2	項目値3	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									

訓練の新規作成について

訓練 新規作成

訓練名:

メール・添付:

リンク先画面:

訓練用URL: (「メール・添付」「リンク先画面」の訓練用URLを指定します)
 /

送信元設定:

配信リスト:

テスト対象者にだけ送信する 対象者の送信順序をランダムにする

訓練開始日: 時間:
 未指定(直ちに訓練開始)

メール送信レート:
 最大約 100通/時間 メール送信終了:--
訓練終了:開始5日後

詳細設定 メール送信レートに拘らず希望時間帯に送信させる場合は、メール送信終了日時を指定してください

- 訓練名 :** 任意の訓練名を入力してください
- メール・添付 :** STEP1でインポートしたシナリオメールを指定してください
- リンク先画面 :** STEP1でインポートしたシナリオのリンク先画面を指定してください
- 訓練用URL :** メール・添付ファイル/リンク先画面のURLを指定できます。特段変更がない場合はデフォルト値で問題ありません
- 送信元設定 :** STEP1でインポートしたシナリオの送信元を選択してください
- 配信リスト :** STEP2で作成した配信リストを確認してください

テスト時

- テスト対象者だけ送信する :** テスト配信時チェックを入れてください **New**
- 対象者の送信順序をランダムにする :** 登録時の配信リスト順ではなく、ランダムに配信する場合に利用ください **New**
- 訓練開始日 :** 配信を実施する日時を入力してください
※入力しない場合即時配信されます **テスト時**
- 訓練期間(日数):** データを収集する期間を入力してください
※訓練期間経過後のアクションは記録できません

- メール送信レート :** 必要に応じて変更してください。
 詳細設定で日時指定等の送信設定もできます
 (カスタマイズガイド P23参照ください)

① 配信設定された時刻に順次訓練メールが配信されます。送信レートにより完了時刻などは変動いたします。

② 訓練の詳細ページに遷移します。訓練状況を確認できます。



- 戻る : 訓練一覧ページへ戻ります。
- ダウンロード : レポートや訓練結果データをダウンロードします。
- 予約取消 : 訓練の予約中に取消を行います。準備中の訓練に移動します。
- 終了日時変更 : 訓練終了日を延長します。
- 訓練終了 : ステータスの記録を強制停止します。
- 削除 : 訓練を削除します。
- 更新 : ステータスを最新の情報に更新できます。

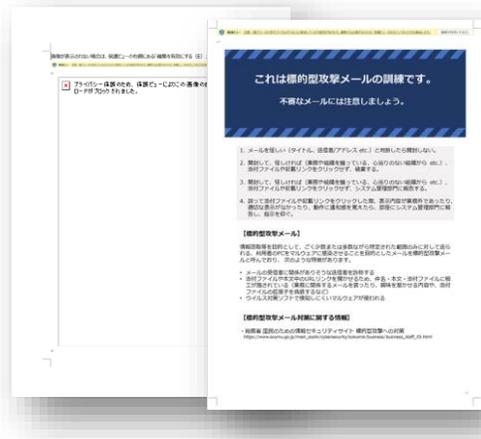
テスト配信時は問題なくアクションステータスを取得できるか確認するために、テスト実施者がアクションステータス取得条件のテストをとして、下記のアクションを実行してください。

① メールの開封



参考 メーラー : Outlook
メールを開いた時:
メール開封のステータスを記録
※画像ダウンロードの注意書きが表示されますのでクリックしてください。
本文中のURLをクリックした時:
リンククリックのステータスを記録
添付ファイルをダブルクリックで閲覧した時:
ファイル開封のステータスを記録

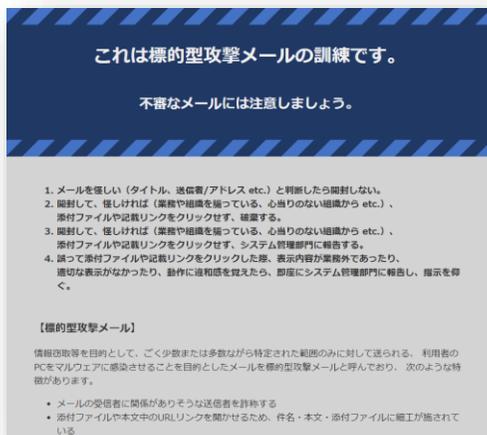
③ 添付ファイルの開封



- 保護ビューで開きます。
編集を有効にするをクリックすると訓練対象者に訓練を告知します。

メーラーによっては、プレビューで内容が表示されます。内容が表示されないように隠しています。
保護ビューの解除（編集を有効にする）を行うと内容を表示し、アクションステータスを記録します。

② URLをクリックした時のリンク先画面の確認



- 訓練対象者に訓練を告知します。

④ メニューのホームをクリックし、訓練一覧から該当する訓練の詳細をクリックください。ステータスが変化していることを確認ください

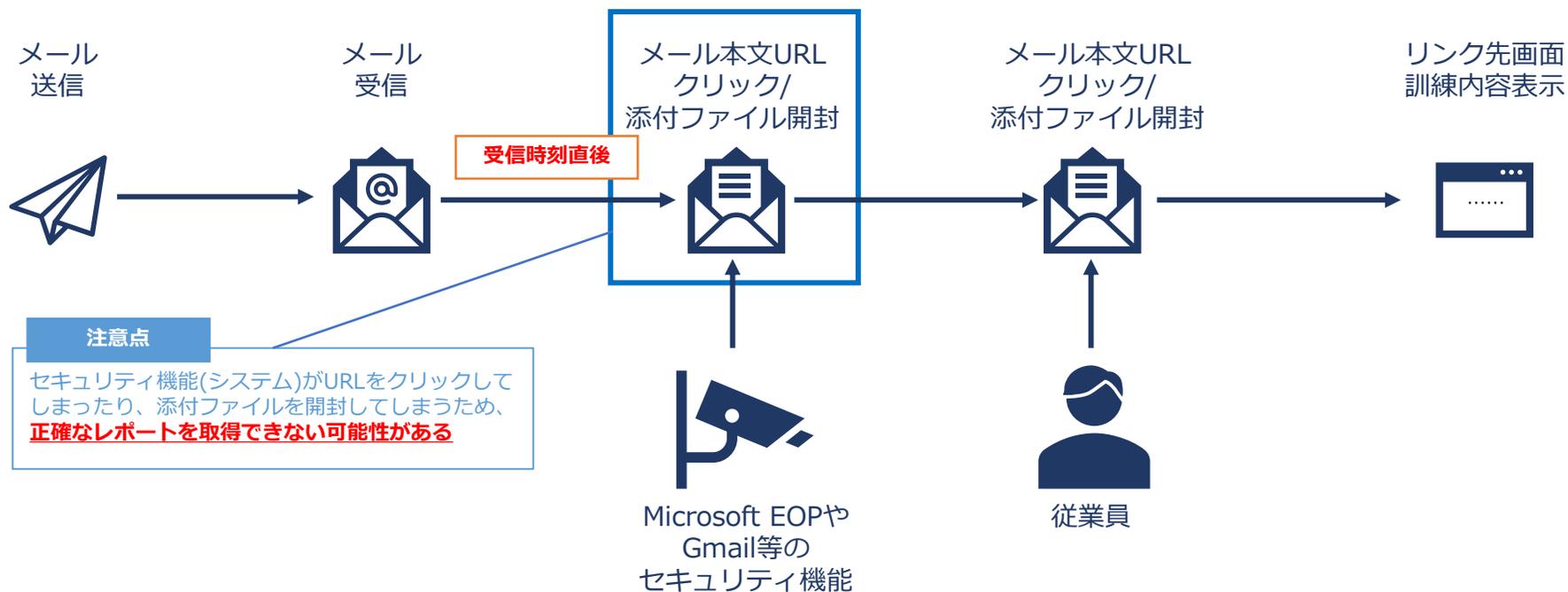


アクションステータスはリアルタイムで記録します。URLクリックした際や添付ファイルを開いた際にカウントします。

標的型攻撃メールへの対策としてメールシステムやメーラーにてセキュリティが強化されています。訓練メール送信後、すぐにアクションステータスが記録される（人の手では難しい秒数で数十件記録される）場合、「メール送信後除外秒数」や「除外IPアドレス」を登録して除外表示ください。

メールセキュリティ機能によるアクションステータス表示

✔ 取得可能なステータス



次スライドを参考にセキュリティ機能によるURLクリック/添付ファイル開封アクションを除外してください

標的型攻撃メールへの対策としてメールシステムやメーラーにてセキュリティが強化されています。訓練メール送信後、すぐにアクションステータスが記録される（人の手では難しい秒数で数十件記録される）場合、「メール送信後除外秒数」や「除外IPアドレス」を登録して除外表示ください。

- ① 訓練結果ページを開きイベント除外右側の「▼」ボタンをクリックする。



参考：除外設定後の表示



詳細情報 訓練対象者毎の
アクションステータス

- ② 設定画面が表示されます。メール送信後除外秒数もしくは除外IPアドレスを登録し、適用をクリックしてください。



KIS MailMon(R)による除外推奨IPアドレス一覧を表示
右矢印をクリックし登録してください。

メール送信後、ステータスの除外秒数を設定
メール受信の直後に記録される場合に活用します。
(例：60秒)

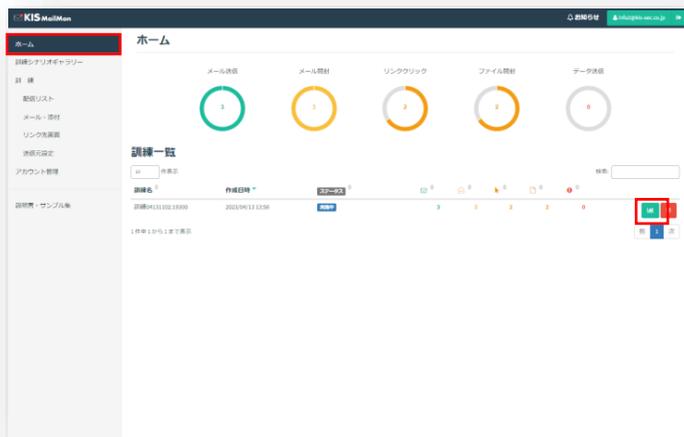
お客様にてIPアドレスを追加
できます。+をクリックして登録してください。
メールチェックシステムを導入されている場合にIPアドレスを登録してください。



ポイント：

- ・訓練毎に設定（保存）が可能です。
- ・設定は、一時適用表示、訓練毎の個別設定（保存された設定）、全訓練対象の「デフォルト設定」の順に適用されます。
- ・全訓練の「デフォルト設定」は、「メール送信後除外秒数」のみ設定可能です。「訓練」メニュー画面右上「設定」ボタンから設定ください。

- ① メニューのホームをクリックし、訓練一覧から該当する訓練の詳細をクリックください。



- ② 訓練結果ページに遷移します。
ダウンロードをクリックしてください。



- ③ 訓練結果 (CSV) およびイベントリスト (CSV)、レポート (Excel) をダウンロードして活用ください。

訓練結果 (CSV)

訓練対象者の最終ステータスが確認できます。

訓練対象者100名の場合 100行

イベントリスト (CSV)

訓練対象者の全てのステータスが確認できます。

レポート (Excel)

訓練結果や訓練実施内容が確認できます。



レポート (Excel) のサンプル

複数回訓練実施時に、メールアドレス毎に訓練対象者別累計アクションステータスを集計できるようになりました。

< 訓練 メニュー >

The screenshot shows the '訓練' (Training) menu in KIS MailMon. The '訓練結果(累計)' button is highlighted with a red box, and an orange arrow points from it to the summary window on the right.

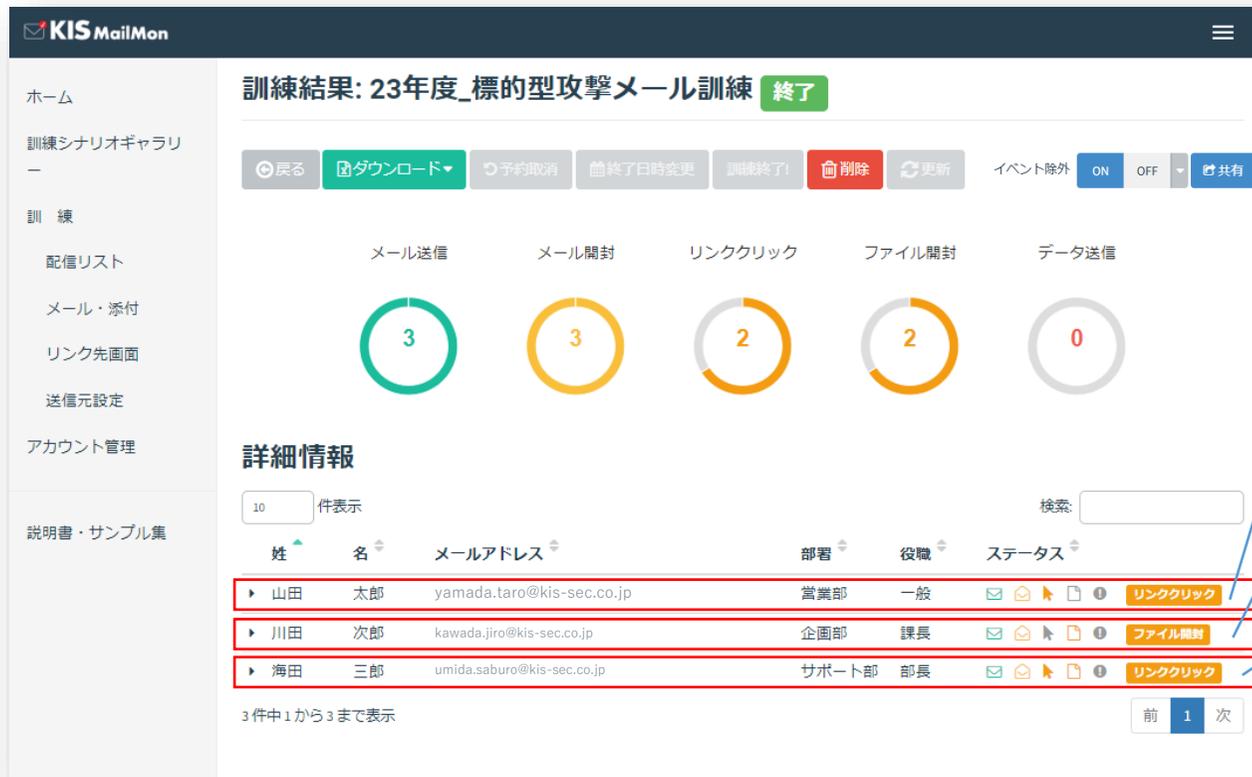
The screenshot shows the '訓練結果(累計)' (Training Results Summary) window. It displays a table of training sessions with columns for training name, start/end times, and counts for various actions.

訓練名	開始日時	終了日時	対象者数
標的型攻撃メール訓練 1	2024/04/03 09:51	2024/04/08 09:51	4
標的型攻撃メール訓練 2	2024/04/03 20:53	2024/04/08 20:53	4
標的型攻撃メール訓練 3	2024/04/03 21:02	2024/04/08 21:02	4
標的型攻撃メール訓練 4	2024/04/03 21:02	2024/04/08 21:02	1
標的型攻撃メール訓練 5	2024/04/03 21:03	2024/04/08 21:03	1
標的型攻撃メール訓練 6	2024/04/03 21:03	2024/04/08 21:03	1
標的型攻撃メール訓練 7	2024/04/03 21:06	2024/04/08 21:06	1
標的型攻撃メール訓練 8	2024/04/03 21:06	2024/04/08 21:06	1
標的型攻撃メール訓練 9	2024/04/03 21:07	2024/04/08 21:07	1
標的型攻撃メール訓練 10	2024/04/03 22:09	2024/04/08 22:09	1

< 複数回訓練の訓練結果.csv > 3つの訓練をまとめてダウンロードした時

姓 名	メールアドレス	部署	役職	項目	項目2	項目3	メール送信	メール開封	リンククリック	ファイル開封	データ送信
山田 太郎	yamada.taro@kissecurity.onmicrosoft.com						10	10	5	3	0
林田 四朗	hayashida.shiro@outlook.jp	営業部	一般	大阪支店			10	6	3	2	0
川田 三郎	kawada.saburo@gmail.com	企画部	課長	本社			10	5	3	0	0
海田 次郎	umida.jiro@kis-sec.co.jp	営業部	課長	本社			9	2	0	0	0

参考 複合型の訓練を実施した時の管理画面に表示されるステータスについて



<複合型の訓練を実施した時>

リンククリックのアクション

ファイル開封のアクション

リンククリックとファイル開封の両方のアクション

両方のアクションを実施した場合、リンククリックとファイル開封の注意レベルは一緒の為、リンククリックを優先して表示します。

訓練結果.csvのステータスと同じです。

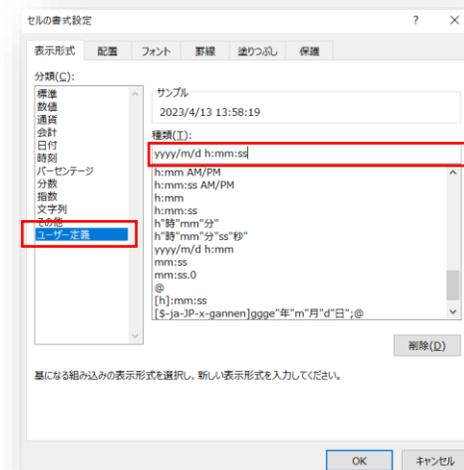
訓練結果.csvファイルの補足内容

- 各ステータスの日時には、秒まで記録しています。

Excelでcsvファイルを開き、上書き保存もしくは名前を付けて保存した場合に、秒が削除されます。(Excelの仕様となります。)

【秒を表示するため対応方法】

- 日時が記入されているセルに対して、セルの書式設定で「yyyy/m/d h:mm:ss」と入力しOKする。
- 名前を付けて保存を実行し、ファイル形式をxlsxに変更して保存する。



イベントリスト.csvファイルの補足内容

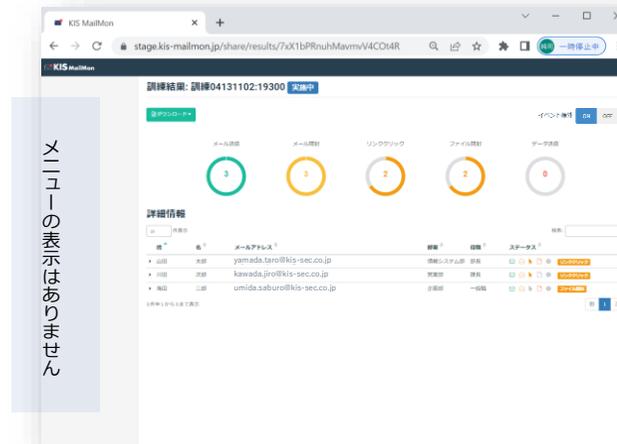
- IPアドレス：インターネットに直接接続したグローバルIPアドレスを取得しています。
- 日時：秒が保存されない。(上記の訓練結果.csvの補足内容と同じです。)
- OS：UserAgentのデータを取得
- ブラウザ：UserAgentのデータを取得

※ UserAgentを非推奨としているアプリやブラウザがあり、正しく情報を取得できない場合があります。

IPアドレスやOS、ブラウザはステータス取得時の傾向を把握するための参考値として記載しています。

訓練実施中や訓練実施後に、訓練結果のリンクを第三者と共有することができます。

- ① 訓練結果ページを開き共有ボタンをクリックする。 ③ 共有リンクをブラウザで閲覧する



- ② 共有リンク設定画面が表示されます。作成ボタンをクリックしてリンクURLを作成ください。



共有リンクの画面でできること

- ・ダッシュボードによる訓練状況の確認ができます。
- ・レポートやcsvファイルがダウンロードできます。

上長や他部署の方と共有する場合にご利用ください。

メニューの「アカウント管理」からお客様の登録内容・契約内容・利用状況などを確認することができます。パスワードの変更や、ログイン時の通知メール、2段階認証設定なども可能です。

The screenshot shows the 'アカウント管理' (Account Management) page in the KIS MailMon system. The left sidebar contains navigation links: ホーム, 訓練シナリオギャラリー, 訓練, 配信リスト, メール・添付, リンク先画面, 送信元設定, アカウント管理 (highlighted), and 説明書・サンプル集. The main content area is titled 'アカウント管理' and has tabs for 'パスワード変更', 'セキュリティ設定', '詳細設定', '使用状況', and 'お知らせ'. The 'パスワード変更' tab is active, showing a form with fields for 'ユーザー名' (User Name), '現在のパスワード' (Current Password), '新しいパスワード (8文字以上)' (New Password), and '新しいパスワード (再入力)' (New Password (re-enter)). A '保存' (Save) button is at the bottom.

The screenshot shows the 'アカウント管理' (Account Management) page with the 'セキュリティ設定' (Security Settings) tab active. It displays the '登録メールアドレス' (Registered Email Address) as [redacted]@kis-sec.co.jp. There are two checkboxes: 'ログイン時に通知メールを送信する' (Send notification email at login) and 'ログイン時に2段階認証を行う' (Perform 2-step authentication at login). A '保存' (Save) button is at the bottom.

The screenshot shows the 'アカウント管理' (Account Management) page with the '使用状況' (Usage Status) tab active. It displays various usage metrics in a table-like format:

項目	値
ライセンス	メール送信数無制限プラン 1000
サービス利用開始日	2024/07/26
サービス利用終了日	2025/07/31
訓練実施累積数	154
メール送信累積数	16565
ユニークメールアドレス数	1025

Below the table, there are two columns of data. The first column has a value of 12, and the second column has a value of 15565. A red box highlights these two columns, with the text '(テスト送信を除く)' (excluding test mail) above them.

●管理機能			
管理画面 (ダッシュボード)			○
ライセンス管理			△
複数管理 (2名以上)			○
ログイン	ユーザー名・パスワード		○
	ワンタイムパスワード		○
ログイン通知			○
パスワードの再発行			自動発行
動作環境	OS	Windows	10以上
	ブラウザ	Edge	○
		Chrome	○
●訓練対象者			
動作環境	デバイス	PC・Mac	○
		スマートフォン	○
	その他		メールが受信できる環境
●リスト作成			
個別登録			○
一括登録			○
	項目		姓・名・メールアドレス・部署・役職・項目・項目2・項目3
	同アドレスの複数登録		上書き
一括修正			○
一括削除			○
グルーピング	「項目：自由記入」を活用		○

●配信内容			
訓練シナリオ (テンプレート)の種類			約200種類
訓練シナリオの言語			日本語・英語
カスタマイズ	訓練シナリオのインポート		○
	インポート後の編集		○
タイプ	URLリンク型 (フィッシング)		○
	添付型		○
	複合型		○
リンク先画面 (種明かし画面) 表示			○
リンク先画面の カスタマイズ			○
添付ファイルのカスタマイズ			○
添付ファイルの種類			pdf・docx・xlsx zip・パスワード付zip
送信元のカスタマイズ	送信者名変更		○
	メールアドレスの変更	(@の前)	○
	送信者のドメイン変更	(@の後)	17種類
	ユーザードメインへ変更		○
subject設定	件名変更		○
●配信設定			
一括配信			○
分散配信			○
配信期間設定			○
配信時間設定			○
配信曜日設定			○
訓練内容ドメイン変更			○
配信設定後の修正			○
配信後の内容確認	設定内容		○
	配信内容		○
	配信リスト		○

●レポート機能			
ダッシュボード	配信件数		○
	メール送信件数		○
	メール開封件数		○
	リンククリック件数		○
	ファイル開封件数		○
	データ送信件数		○
	レポート	個別報告書	
訓練結果	訓練結果.csv	訓練名	○
		ResultID (個別ID)	○
		姓	○
		名	○
		メールアドレス	○
		部署	○
		役職	○
		項目	3つ
		送信日時	○
		ステータス	○
	イベント.csv	ファイル開封	○
		ステータス更新日時	○
		訓練名	○
		ResultID (個別ID)	○
		姓	○
		名	○
		メールアドレス	○
		部署	○
		役職	○
		項目	3つ
		グローバルIPアドレス	○
		日時	○
		ステータス	○
		OS (UserAgent)	○
		ブラウザ (UserAgent)	○

	訓練結果 (累計) .csv	姓	○
		名	○
		メールアドレス	○
		部署	○
		役職	○
		項目	3つ
		メール送信	○
		メール開封	○
		リンククリック	○
		ファイル開封	○
		データ送信	○
●その他			
	配信リストのドメイン		制限なし
	訓練に使用するドメイン		soumu-grp.com
			keiri-grp.com
			jinji-grp.com
			system-grp.com
			cyber-taisaku-co.jp
			office-system-co.jp
			cloud-sys-co.jp
			micro-sys-co.jp
			mail-qooqle.com
			mail-online-co.jp
			post-arnazon-co.jp
			post-delivery-co.jp
			wtvnqxqopzhujob.com
			accounting-grp.com
			kanri-grp.com
			security-alert.info
			yxwhitotupfruxe.com

Microsoft365およびGoogle Workspaceをご利用の場合、参考にください。

- ・ Microsoft365を利用の場合
 - ・ メールが届き、迷惑フォルダに振り分けられる場合 → P15をご覧ください
 - ・ メールが届かない場合 → 次ページをご覧ください
- ・ Google Workspaceを利用の場合 → p15をご覧ください

高度な配信の設定方法 (Microsoft 365の契約形態によって利用できない場合があります。)

設定メニューが利用できない場合は、当社までお問合せ下さい。

●管理者アカウントにて、Microsoft Defender portal (<https://security.microsoft.com/homepage>) にサインインします。

①「ポリシーとルール」－「脅威ポリシー」をクリックして下さい。



②「高度な配信」をクリックして下さい。



③高度な配信画面の「フィッシングのシミュレーション」を選択し「編集」をクリックして下さい。



④ドメインおよびIPアドレスを入力後、「保存」をクリックして下さい。



KIS MailMonサービスのドメイン(kis-mailmon.jp)に加え、次頁を参考に訓練メールの“送信元”で設定するドメインを登録して下さい。複数のドメインが登録できますので、訓練内容が確定していない時は全てのドメインを登録すると、設定は一回で済みます。

KIS MailMonサービス(160.251.121.141)のIPアドレスを登録して下さい。**注意** もしお客様の環境でMicrosoft365のメールサーバ(Exchange)より前にメールを受けるサーバがあればそのサーバのIPアドレスも登録して下さい。(例)KIS MailMonサーバ->お客様のサーバ->Microsoft365(Exchange) KIS MailMon(160.251.121.141)とお客様サーバ(IPアドレス)を登録下さい。

KIS MailMonサービスのドメイン(kis-mailmon.jp)に加え、次頁を参考に訓練の“訓練用URL”で設定するドメインを登録して下さい。複数のドメインが登録できますので、訓練内容が確定していない時は全てのドメインを登録すると、設定は一回で済みます。

高度な配信の設定内容は、訓練終了後 忘れずに削除ください。

●KIS MailMonのIPアドレス

KIS MailMonサービスのドメインおよび送信元・訓練用URLのドメインは、全て下記のIPアドレスです。

160.251.121.141

注意) お客様の環境でMicrosoft365のメールサーバ(Exchange)より前にメールを受けるサーバがあれば、そのサーバIPアドレスも登録願います
 (例)KIS MailMonサーバ --> お客様のサーバ --> Microsoft365(Exchange)
 → KIS MailMon(160.251.121.141)とお客様サーバIPアドレスを登録下さい。

●送信元のドメイン

kis-mailmon.jp (KIS MailMonサービスドメイン)	
cloud-sys-co.jp	mail-qooqle.com
office-system-co.jp	post-arnazon-co.jp
cyber-taisaku-co.jp	mail-online-co.jp
jinja-grp.com	post-delivery-co.jp
keiri-grp.com	wtnvnxoqopzhujib.com
soumu-grp.com	accounting-grp.com
system-grp.com	kanri-grp.com
yxwhitotupfruxxe.com	security-alert.info
micro-sys-co.jp	

●訓練用URLのドメイン

kis-mailmon.jp (KIS MailMonサービスドメイン)	
cloud-sys-co.jp/*	mail-qooqle.com/*
office-system-co.jp/*	post-arnazon-co.jp/*
cyber-taisaku-co.jp/*	mail-online-co.jp/*
jinja-grp.com/*	post-delivery-co.jp/*
keiri-grp.com/*	wtnvnxoqopzhujib.com/*
soumu-grp.com/*	accounting-grp.com/*
system-grp.com/*	kanri-grp.com/*
yxwhitotupfruxxe.com/*	security-alert.info/*
micro-sys-co.jp/*	/*を忘れずにお願いします

訓練メールで設定するドメインを登録して下さい。複数のドメインが登録できますので、訓練内容が確定していない時は全てのドメインを登録下さい。
 高度な配信の設定内容は、訓練終了後 忘れずに削除ください。

エンドポイントセキュリティESETをご利用の場合、過検知によりリンク先画面がブロックされ、リンク先画面の内容が表示されない場合があります。

(アクションステータスは記録されます。)

エンドポイントセキュリティESETをご利用の場合は、
説明書・サンプル集の以下ファイルを参考に、設定ください。

説明書・サンプル集ページ：<https://www.kis-sec.co.jp/m-contents>

※エンドポイントセキュリティESETをご利用の場合（除外設定）.pdfのファイルをご覧ください。